

西之坊方違社神像群 一括(7 軀)

西之坊方違社神像群

にし の ぼう ほう ち が い しゃ しん ぞう ぐん

分野／部門

有形民俗文化財

所有者

宗教法人 西之坊(にし の ぼう)

所在地

大阪市住吉区上住吉 2 丁目

紹介



西之坊方違社神像群のうち、木造金神立像

西之坊は、住吉大社の東に寺地を構える真言宗寺院で、寺に伝来する享保 14 年(1729 年)の文書によれば、仁和寺末天野谷寺五ヶ寺の内の一坊であった。境内の方違社は、特定の方角を物忌みし、さらに安全を期するために参拝を行う神社として信仰されており、西之坊はその守護所であった。方違社の神体は、複数の彫像であり、主祭神の神体は、実作例としてはめづらしい、陰陽道と関連が深い金神の立像である。この像は、銘記から、大坂仏師田中主水の文化 12 年(1815 年)の作とわかる。この他にも、弁才天、大黒天などの彫像もまつられており、神仏習合の影響が色濃くみられる住吉の地の信仰のあり方を示す貴重な民俗文化財である。